

事務事業名	6988 保養所管理運営事業													
担当組織	市民生活部 暮らし安心課										担当	相談担当		
組織コード	R3	13	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	03	01	07	01	01	記入日	令和 3年 6月 8日
	R2	13	06	00		R2	01	03	01	07	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	02	健康づくり											
施策	17	健康づくり体制の推進											
事業期間	昭和44年度～令和3年度												
根拠法令 通達等	戸田市保養所条例, 同施行規則										関連計画 施政方針		
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民等												
事業目的	市民等が日常生活のリフレッシュとして、保養所でレジャーや趣味に興じたり、温泉入浴することで充実した余暇を過ごす事ができる。												
事業内容	市民等がくつろげる保養施設として、十分満足いただけるよう、安価な利用料金で質の高いサービスを提供する。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		保養所維持管理業務	保養所維持管理業務	閉鎖建物管理業務等			
事業費		97,095	97,243	70,000	0	0		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	起債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	97,095	97,243	70,000	0	0		
人件費		3,115.8	3,115.8	4,846.8	0	0		
投入人員	常勤職員	0.45人	0.45人	0.7人	0人	0人		
	非常勤職員	0人	0人	0.3人	0人	0人		
事業費+人件費		100,211	100,359	74,847	0	0		
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	保養所稼働日数	日			340	285	340
						353	215	-
	成果①	保養所一日あたりの利用者数	人/日	年度利用者数/稼働日数 29年度より指標変更		28.6	28.7	24
						26.3	17.2	-
	成果②							-
						-		
目標達成状況の分析		C: 活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 令和2年度は、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言発出の影響により休館を強いられたことから、稼働日数及び一日当たり宿泊者数が目標には到達しなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 安価な利用料金で安定したサービスを提供することで、利用者が心身ともにリフレッシュすることができ、結果として市民の健康増進に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 平成19年度より指定管理制度を導入し、限られた指定管理料の範囲内で民間のノウハウを活かした適切な運営管理がなされており、定期的なメンテナンス等による経費削減が図られている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 限られた指定管理料の範囲内で民間のノウハウを活かした適切な運営管理がなされており、インターネットによる申込受付など、業務の簡素化・効率化に努めている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。
	C	C	C	<判断理由> 利用については、市民及び市内在勤者については市外利用者に比べ、低価格での宿泊が可能であり、高齢者・障がい者に関しては宿泊料が免除となっている。このことから利用者については、高齢者が多いなどの偏りがあり、一部負担の必要性については検討の必要がある。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	<p>保養所については、公共施設再編プランの対象となっており、今後の方向性について検討の必要性が高まっている。このため、令和2年度に戸田市保養所再編方針検討委員会を設置し、市民意識調査を実施するとともに保養所の再編についての検討を行った。その結果、保養所については「廃止が妥当」である旨の提言を受けた。</p>
見直しの効果	<p>市は保養所について、検討委員会の提言及び市民意識調査の結果を参考に検討を行い、費用対効果の面から令和3年度中に廃止を含め方針を決定する。</p>

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<p><判断理由> 平成19年度から引き続き指定管理者制度を実施しており、現在公共施設再編プランにおいて、平成34年度までに「施設廃止を含め、民間施設の代替利用等について検討する」との方針が示されている。 このため、令和2年度に検討委員会を設置するとともに市民意識調査を実施した。検討委員会からは「廃止が妥当」の提言を受けたことから市においても保養所の存続について検討を行ったところ廃止の方針となった。</p>
今後の取組方針	<p>廃止までの期間については引き続き、指定管理者とともに利用者の増加（特に市民利用の増加）を目指し、各種サービスの充実を図る。 また、廃止後の保養所の取り扱いについても検討を行っていく。</p>

事務事業名	35784 福祉保健センター管理運営費													
担当組織	健康福祉部				福祉保健センター					担当	保健政策・感染症対策担当			
組織コード	R3	17	25	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	04	01	01	04	01	記入日	令和 3年 6月17日
	R2	17	25	00		R2	01	04	01	01	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち									○ 対象		
分野	02	健康づくり									● 対象外		
施策	17	健康づくり体制の推進											
事業期間	平成24年度～令和12年度												
根拠法令通達等	戸田市福祉保健センター条例 戸田市福祉保健センター条例施行規則				関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画							
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	市民が施設を安全に使用するため、効率よく、適切に施設設備を維持管理すること。												
事業内容	①警備、清掃業務及び設備保守等の施設管理業務全般 ②貸室業務 ③売店運営支援 ④施設内入所事業者等の調整業務												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
施設の維持管理						
事業費	30,552	34,224	34,224	34,224	34,224	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	963	1,142	1,142	1,142	1,142
	一般財源	29,589	33,082	33,082	33,082	33,082
人件費	4,916.04	5,469.96	5,469.96	5,469.96	5,469.96	
投入人員	常勤職員	0.71人	0.79人	0.79人	0.79人	
	非常勤職員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
事業費+人件費	35,468	39,694	39,694	39,694	39,694	

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標	R2目標	R3目標
				R1実績	R2実績	R3実績
活動①	消防訓練の実施回数	回	1年間の実施回数	2	2	2
				2	2	-
成果①	来館者数	人	1年間の開館日の来館者数	40,000	33,000	25,000
				37,388	20,499	-
成果②	貸室利用者数	人	1年間の貸室利用者数	6,000	4,000	2,000
				4,824	524	-

目標達成状況の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 消防訓練は2回実施し、火災発生時における各自の役割及び設備の使用方法について再確認をした。来館者数については、新型コロナウイルス感染防止対策のため、カフェこぼの営業及び交流スペースの利用を取りやめたことで大きく減少した。また、貸室の利用者数の減少についても、新型コロナウイルス感染防止対策として、貸室の利用を取りやめたことによるものである。
-----------	--

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 市民の健康づくりと福祉の向上を図るため、乳幼児健診や健康教室、貸室業務などを行っており、目的の達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 予算及び仕様書に基づいて入札・見積もりあわせをを実施して適切に事業者を選んしており、施設設備の保守の観点からも適切である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	C：事業手法の一部に見直しが必要である。
	B	B	C	<判断理由> 市民が安心して施設を利用できるよう、総合管理業務や施設設備等の保守点検を専門業者に委託しており、適切な安全管理を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 貸室使用料は受益者負担となっており、適切な範囲である。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から、市の方針に従い4-5月及び10-3月の間貸室の利用を中止とした。
見直しの効果	新型コロナウイルス感染症対策の関係で、令和2年度は利用者が著しく減少したが、貸し出しの中止に伴う一時的なものであると考える。貸室の利用については希望も多く、地域の交流に不可欠な事業である。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 公共施設予約システムについては、インターネットから予約が可能であり、利用者のサービス向上に繋がっている。 施設管理については、令和3年度中に施設管理の契約更新を迎えるが、引き続き適正に業者を選定し、効率的に運営を行っていく。 消防・防災訓練については、定期的に確認することが有事の際に役立つことから、今後も継続的に行っていく。
今後の取組方針	施設管理については、安全に利用できるよう適切に保守点検、整備を行っていくとともに、利用者にも適切な利用を呼び掛けていく。また今後、設備の修繕等の増加が考えられることから、施設点検マニュアルに基づき、定期的な施設点検を通して、簡易修繕の実施や大規模修繕を見据えた予算の計画を立てていく。 また、健康福祉の杜の他施設や社会福祉協議会と連携し、引き続き有事の際の協力体制について検討する。

事務事業名	27570 地域保健推進事業													
担当組織	健康福祉部					福祉保健センター					担当	保健政策・感染症対策担当		
組織コード	R3	17	25	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	04	01	01	05	01	記入日	令和 3年 6月17日
	R2	17	25	00		R2	01	04	01	01	05	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	02	誰もが健康でいきいきと生活できるまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	02	健康づくり											
施策	17	健康づくり体制の推進											
事業期間	昭和57年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	戸田市保健対策推進協議会条例					関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 第3次戸田市健康増進計画 第2次戸田市食育推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民												
事業目的	市民の健康が保持・増進することを目的とする。												
事業内容	①地域の保健・医療団体及び健康づくりを目的とした市民団体等に対する活動支援。 ②戸田市健康福祉の杜まつりの運営 ③献血事業 ④保健対策推進協議会の運営 ⑤保健情報システムの保守管理												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3社・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (食改・医師会等)												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		18,423	25,071	25,071	25,071	25,071	
	財源内訳	国庫支出金	0	638	0	0	0	
		県支出金	134	65	65	65	65	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	4	4	4	4	4	
		一般財源	18,285	24,364	25,002	25,002	25,002	
	人件費		6,647.04	6,647.04	6,647.04	6,647.04	6,647.04	
	投入 人員	常勤職員	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	
		非常勤職員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
事業費+人件費		25,070	31,718	31,718	31,718	31,718		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	保健対策推進協議会実施	回	1年間の保健対策推進協議会開催回数		2	2	2
	活動②	健康福祉の杜まつりの実施	回	市民が健康への意識を高めてもらうことを目的		2	0	-
	成果①	市民の企画した健康づくり事業回数	回	健康福祉まつりへの参加団体発表数		1	1	1
				健康福祉まつりへの参加団体発表数		1	0	-
	成果②	健康福祉まつりの来場者数	人	健康福祉まつり参加者数		10	10	10
					14	0	-	
					1,500	1,500	1,500	
					1,132	0	-	
目標達成状況の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、保健対策推進協議会の開催は中止となった。また、健康福祉の杜まつりについても、市民の安全を第一に考え開催中止としたため、成果が未達成となった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 保健対策推進協議会は、有識者や市民委員との協議を行う貴重な場であり、戸田市の保健行政に対し大きな役割を果たしている。また、健康福祉の杜まつりは、関係団体と市と市民の交流が可能であり、地域保険の推進に大きく寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 団体補助金については毎年見直しを実施し、妥当性を確認している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> イベント等は実施できなかったものの、保健ガイドを作成し、福祉保健センターの実施する事業の情報提供を行うことで事業を適正に実施した。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 保健ガイドの一冊当たりの作成費を保健ガイドに記載することで、市民へ税金の使い道を公表し、事業への理解を得られるよう努めている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	わかさ会に対して戸田市福祉保健センター売店事業運営補助金を交付しているが、休業に伴う交付額の見直しを行い交付額を減額した。
見直しの効果	感染防止対策の一環として売店の運営を一時休業とし、交流スペースでの感染を未然に防止することができた。しかしながら、交流スペースでの地域交流には、売店の運営も必要であると考えられることから、今後感染防止対策をしっかりと行い、営業を再開する。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 保健対策推進委員会については、市の保健行政に欠かせない事業であるため、今後も実施していく。また、健康福祉の杜まつりについても、健康づくり事業の推進・周知啓発に欠かせない事業であるため、今後も実施していく。
今後の取組方針	策定した健康増進計画に基づき、引き続き横断的・総合的な取り組みを進めるとともに、地域との協働を意識し、市民の健康づくりを推進する。健康福祉の杜まつりは、令和3年度についてもイベントの開催による感染拡大の危険性や、医療従事者のワクチン接種関連業務を優先し中止とするが、今後の状況を見つつ、引き続き敷地内の各団体と協力し運営していく。